

令和6年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立馬込小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ペアやグループ等児童同士で協働したり、意見を共有する場を設定することで、互いの考えを広げたり深めたりすることができた。
- ・「スクールサポートまごめ」と連携した個に応じた支援の充実により、技能の習得ができた。
- ・作品や成果物を紹介しあったり、展示する機会を設けたりすることで他者と自分の作品の良さや工夫に気付くことができた。

(2) 課題

- ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定する力が不十分である。
- ・家庭科の学習を自分の家庭生活に関連付けて考えることが苦手である。
- ・日常生活において、家庭での手伝いや、家庭の仕事を担う機会が乏しい児童が多い傾向がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本的な知識・技能の定着のために、長期休養中の家庭での実践課題に全員取り組ませる。 ・ICT 機器を積極的に活用し、視覚で学んだり、繰り返し学習したりすることで、知識及び技能の定着を図る。 ・スクールサポートまごめと連携し、個別の支援をさらに充実させる。特に布を用いた製作の技能の習得については、全員に基礎的な技能を身に付けさせる。	・問題解決的な学習、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることのできるように、自分の家庭生活に関連付けられるような授業を展開する。 ・調理、製作等の実習や観察、実験など、それぞれの特徴を生かした実践的・体験的な活動を充実させることで、家庭生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育てる。	・「家庭科だより」や保護者会等を通じて家庭に情報を提供したり協力を呼び掛けたりする。 ・長期休業中の課題で、家庭での実践の場と家族との触れ合いの場を作ることで、家族の大切さや家庭の良さに、気付かせる。 ・家庭生活で実践したことを写真や言葉で共有するクラスルームを設けることで、家庭実践への意欲を高めさせる。